【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成17年1月20日(2005.1.20)

【公開番号】特開2001-42247(P2001-42247A)
【公開日】平成13年2月16日(2001.2.16)
【出願番号】特願平11-218607
【国際特許分類第７版】
　Ｇ０２Ｂ　26/10
　Ｂ２３Ｋ　26/00
　Ｂ２３Ｋ　26/08
【ＦＩ】
　Ｇ０２Ｂ　26/10　　１０４
　Ｇ０２Ｂ　26/10　　Ａ
　Ｂ２３Ｋ　26/00　　Ｍ
　Ｂ２３Ｋ　26/08　　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成16年2月23日(2004.2.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
位置指令信号により回転制御されるガルバノメータの回転位置を位置センサで検出し、その位置センサの検出位置が前記位置指令信号による指令位置に一致するようフィードバック制御する方法において、
前記ガルバノメータのミラー部の表裏ミラー面の内一方のミラー面に加工用光線を照射し、反射させる一方、他方のミラー面に計測用光線を照射し、
前記計測用光線の前記ミラー面からの反射光を入射させる光入射位置検出手段の入射検出位置に基づいて前記ガルバノメータの回転位置を求め、
その求めた回転位置の前記指令位置に対するずれ量を算出し、
前記ずれ量を加，減算した前記指令位置を前記位置指令信号して前記ガルバノメータを回転制御することを特徴とするガルバノメータ制御装置の回転位置補正方法。
【請求項２】
初期調整時において、原点位置と任意位置とをそれぞれ指令する位置指令信号によりガルバノメータを順次回転制御して、その回転制御したときの前記ガルバノメータの回転位置を、計測用光源のミラー面からの反射光の入射検出位置に基づきそれぞれ求めて、その求めた基準原点位置および基準任意位置を位置指令信号の指令位置と関連付けて記憶しておき、
補正の実行に際して、前記ガルバノメータを、前記計測用光源のミラー面からの反射光の入射検出位置が前記基準原点位置および基準任意位置にそれぞれ一致するよう位置決めし、
その原点位置および任意位置にそれぞれ位置決めしたときの位置指令信号の指令位置と記憶している指令位置とからずれ量を算出するようにした請求項１に記載のガルバノメータ制御装置の回転位置補正方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
【課題を解決するための手段】
上記目的を達成するために、本発明は、位置指令信号により回転制御されるガルバノメータの回転位置を位置センサで検出し、その位置センサの検出位置が前記位置指令信号による指令位置に一致するようフィードバック制御する方法において、前記ガルバノメータのミラー部の表裏ミラー面の内一方のミラー面に加工用光線を照射し、反射させる一方、他方のミラー面に計測用光線を照射し、前記計測用光線の前記ミラー面からの反射光を入射させる光入射位置検出手段の入射検出位置に基づいて前記ガルバノメータの回転位置を求め、その求めた回転位置の前記指令位置に対するずれ量を算出し、前記ずれ量を加，減算した前記指令位置を前記位置指令信号して前記ガルバノメータを回転制御することを特徴としている。